

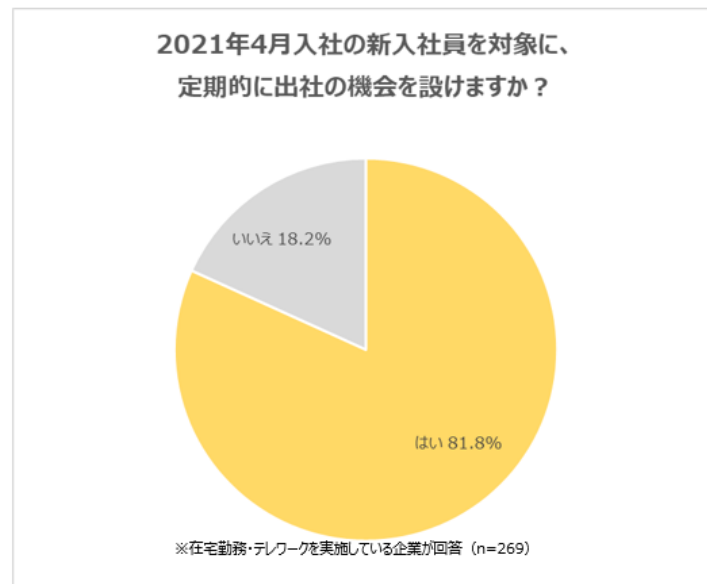
**【企業アンケート】在宅勤務・テレワークを実施している企業も、81.8%は****「新入社員は定期的に出社の機会を設ける」予定。「テレワークだけでは、OJTは難しい」の声。**

株式会社学情は、「2021年4月入社の新入社員の勤務形態」に関して、企業の人事担当者にアンケートを実施しました。在宅勤務・テレワークを実施している企業も、81.8%は「新入社員は定期的に出社の機会を設ける」としています。「定期的に出社の機会を設ける」とした人事担当者からは、「会社への帰属意識の醸成や、新生活への不安解消のためには、入社後は出社が必要だと思う」「テレワークだけでは、OJTは難しい」「仕事の進め方への理解度やモチベーションを把握するためにも、定期的な出社は必要」などの声が挙がりました。また、若手社員が在宅勤務・テレワークをする際に課題になる点は「モチベーションの状態をつかみにくい」が72.1%で最多。次いで、「報連相などのコミュニケーション不足」となっており、フォローやコミュニケーションの面で、課題を感じている企業が多いことが分かります。

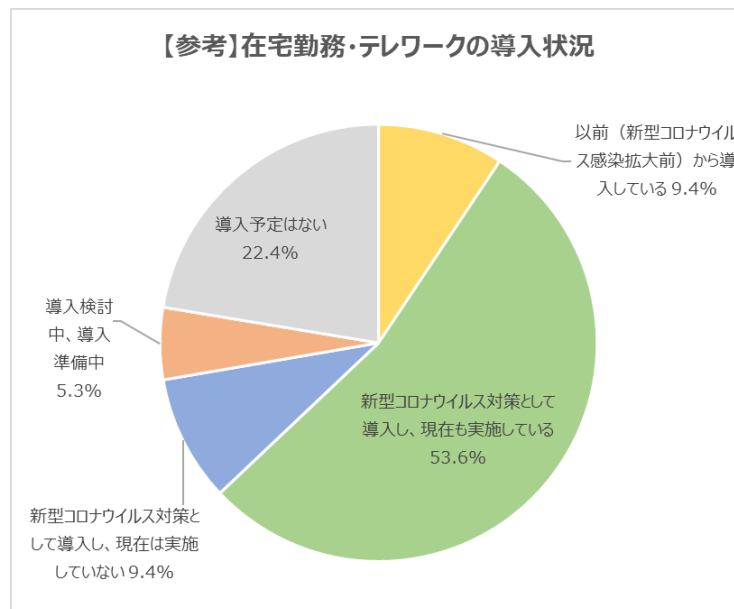
**【TOPICS】**

- (1) 在宅勤務・テレワークを実施している企業も、81.8%は「新入社員は定期的に出社の機会を設ける」予定
- (2) 若手社員が在宅勤務・テレワークをする際に課題になる点は「モチベーションの状態をつかみにくい」が最多

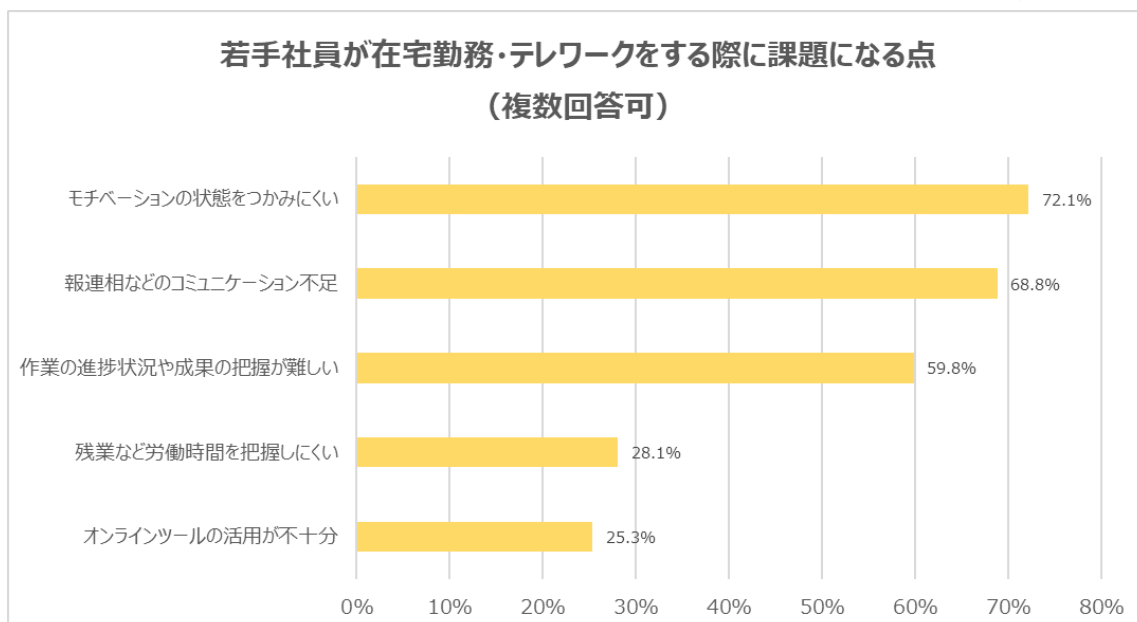
- (1) 在宅勤務・テレワークを実施している企業も、81.8%は「新入社員は定期的に出社の機会を設ける」予定



在宅勤務・テレワークを実施している企業のうち、81.8%は「新入社員は定期的に出社の機会を設ける」予定であることが分かりました。「定期的に出社の機会を設ける」とした人事担当者からは、「会社への帰属意識の醸成や、新生活への不安解消のためには、入社後は出社が必要だと思う」「テレワークだけでは、OJTは難しい」「仕事の進め方への理解度やモチベーションを把握するためにも、定期的な出社は必要」などの声が挙がりました。「定期的な出社の機会を設けない」とした人事担当者からは、「OJT担当者もテレワークなので、研修や育成もリモートで実施する」「始業時や終業時にオンラインでMTGを実施し、コミュニケーションを図る予定」などの声が寄せられています。



**(2) 若手社員が在宅勤務・テレワークをする際に課題になる点は「モチベーションの状態をつかみにくい」が最多**



若手社員が在宅勤務・テレワークをする際に課題になる点は「モチベーションの状態をつかみにくい」が72.1%で最多。次いで、「報連相などのコミュニケーション不足」68.8%と続きます。「直接コミュニケーションを取らないと、モチベーションや仕事の理解度は把握しにくい」「顔を合わせていたら、何気ない会話から、本音や不安を聞くことができる。オンラインのMTGでは、雑談やフランクな会話が生まれにくい」などの声が挙がっており、コミュニケーションやフォローの面で課題を感じている企業が多いことが分かります。

**■調査概要**

- ・調査対象：企業人事担当者
- ・調査方法：Web上でのアンケート
- ・調査日：2021年2月22日～2月26日
- ・有効回答数：545件

東証一部上場

学情

